

第5回

熊谷市農業委員会

農政部会議事録

(公開用)

平成29年8月29日(火)

熊谷市農業委員会

第5回農政部会議事録

1 開会・閉会の日時及び場所

- (1) 開会の日時 平成29年8月29日(火) 午後1時35分
- (2) 閉会の日時 平成29年8月29日(火) 午後2時51分
- (3) 場 所 めぬま農業研修センター大会議室

2 会議を組織する委員の定数

- (1) 定員数 18名
- (2) 現在数 17名

3 出欠席の状況及びその氏名 下記のとおり

- (1) 出席数 16名
- (2) 欠席数 1名

議席	出欠	氏名	議席	出欠	氏名
1	出	関口久夫	10	出	堀重明
2	出	関根政利	11	出	木部富次
3	出	水野勝	12	欠	須永宣延
4	出	加賀崎千秋	13	出	塚田とよ子
5	出	石原敬嗣	14	出	森宏志
6	出	矢島君夫	15	出	赤石嘉孝
7	出	小林真	16	出	菊地修一郎
8	出	強瀬兼一	17	出	松崎弘一
9	出	泉二良			

4 議 事

議事（１） 平成３０年度熊谷市農業施策に関する意見等について

議事（２） 規模拡大希望者アンケート結果及び戸別訪問のお願いについて

5 招集者 農政部会長 塚田とよ子

6 議事進行状況 別紙のとおり

議長 　　ただいまから、第5回農政部会を開催いたします。

欠席委員は

12番 　　^{すなが}須永 ^{よしのぶ}宣延 委員

の1名です。

農政部会員総数17名で、本日の出席委員数は16名で過半数の委員が出席しておりますので、本部会は成立しております。

次に、議事録署名委員の指名について、お諮りいたします。議事録署名委員について、いかが取り計らいましょうか。

（議長一任の声）

議長一任の声がありましたので、

3番 　　^{みずの}水野 ^{まさる}勝 委員

4番 　　^{かがさき}加賀崎 ^{ちあき}千秋 委員 　　をお願いいたします。

なお、書記は事務局職員を指名します。

今回、農政部会において協議する案件は、
議事（1）平成30年度熊谷市農業施策に関する意見等について
議事（2）規模拡大希望者アンケート結果及び戸別訪問のお願いについて
の以上2件です、よろしく申し上げます。

議長 　　では、各項目ごとに事務局の説明をお願いします。

事務局 　　それでは、（1）平成30年度熊谷市農業施策に関する意見等について、資料をご覧いただきたいと思います。農業委員から多数の意見をいただきまして、それに事務局案を加えたものです。

1 遊休農地対策について

[1] 遊休農地対策

- ①区画の小さい遊休農地については担い手への集積ではなく、市民農園、体験農場としての活用を検討してほしい。
- ②放棄地解消にかかる費用は、市が全額補助してほしい。
- ③JAくまがやと連携し、遊休農地の活用に向けた農地利用会議を定期的
に開催してほしい。
- ④ 遊休農地解消により生じた伐採木等の受け入れの費用を支援してほしい。

[2] 基盤整備(再ほ場整備)の推進

- ①基盤整備のされていない農地や基盤整備後、数十年を経た小区画農地は、耕作条件が悪く遊休農地化し易いため、再整備も含めた基盤の整備を進めてほしい。
- ②基盤整備を推進するため、市独自の補助制度を創設し、事業推進を図ってほしい。

[3] 除草作業

- ①雑草の駆除等の管理組織を地域ごとに編成してほしい。
- ②農地利用最適化推進委員会を中心とした除草作業の取り組みを、JAくまがやと連携すると共に、除草費用の補助や除草機械の購入等、荒廃農地の解消に向けた事業展開をしてほしい。

[4] 所有者への対応

- ①固定資産税の優遇措置を終了するなど、所有者への指導を強化してほしい。
- ②所有者の意向を把握するために、農業委員自らが足を運び現在の状況や今後について相談に乗る体制づくり。
- ③耕作放棄地への除草対策として罰則や罰金を含め、所有者に対する強制力を持った条例等の整備を進めてほしい。

[5] 農地中間管理機構

現在、農地中間管理機構ではパンフレットなどで農家に周知している内容が、現実には摘要されないなど多くの問題点がある。

このため、中間管理事業の運営にあたっては、規定の運用をするよう、運営の改善を機構に要請してほしい。

2 農家への支援について

[1] 農家への支援

- ①規模拡大を希望する農家に対する農機具購入のための補助率を上げてほしい。
- ②後継者育成のための更なる支援をお願いしたい。

[2] 集団化にむけて

- ①農機具の共同利用を含め農作業の共同化を図るための仕組み作りを構築してほしい。
- ②集団化組織を地区ごとに設置できるような方策を検討してほしい。

[3] 法人化の推進

- ①法人化を進めるとともに企業との連携を図ってほしい。
- ②法人化に伴う人材確保のため定年退職者を活用できる仕組みを作してほしい。

3 新規就農支援について

- ①新規就農者に対する技術指導等、積極的に支援できる体制づくりを行ってほしい。
- ②熊谷農業高校や農業大学の卒業者がスムーズに就農できるような仕組みを作してほしい。
- ③新規就農候補者向けの実体験や補助金制度などを記したパンフレットを作製し、配布してほしい。

4 非農地判定について

「守るべき農地」の範囲の明確化を図ることを目的として、農地への復元が不可能と判断される農地については、他の土地活用を視野に非農地判定についての熊谷市独自の基準を策定してほしい。

5 熊谷ブランドの創生と販売促進について

[1] 熊谷ブランド

- ①付加価値のついた商品開発や6次産業化に対応した加工施設の誘致をしてほしい。

[2] 販売促進

- ①市内バイイングネットワークを活用した、農産物の販売システムを構築する。

- ②観光と農業を組み合わせた交流人口の獲得
- ③農産物直売所の更なる充実と規模拡大

6 人・農地プランの策定について

人・農地プラン策定に際しては、地域で話し合いや利用調整がスムーズに行える広さが適切であることから、実際の生活基盤に即した細かい単位での策定をしてほしい。

7 企業参入について

- ①食品関連企業等の農業参入を図ると共に契約栽培等、企業との連携を促進させる。
- ②大規模の施設園芸等については奨励金制度の策定など、企業参入の促進を図る。

8 農業委員会組織の充実について

法改正により新設される、農地利用最適化推進員や新たに任命される農業委員の活動が効率的となるよう、委員会や部会等の組織を充実させてほしい。

議 長 (1)平成30年度熊谷市農業施策に関する意見等について、事務局の説明が終了しました。質疑、意見を求めます。

関口委員 バイイングネットワークとは、何ですか。

事務局 たとえば、PTA等で地元産の物を買って行こうという考え方で、いわゆる地域のネットワークです。

議 長 ほかに、ありますか。

事務局 意見書案では、大きく8項目に分けましたが、今回提示させていただいた案については、委員皆様からいただいたご意見を集約した形となっていますので、本日の農政部会において再度確認をしていただいてから、事務局のほうで修正して行きたいと思います。

これはどうなのか又はどういう意味なのか等、意見がありましたら、お願いします。

小林委員 新規就農、新規参入については、是非、進めていただきたい。
また、農業人口が増えるので、市外からの参入も積極的に進めてほしい。

議長 新規就農で市外から移住を希望している方がいても、面識がないとなかなか農地が借りられない状況にあり、以前に私も農地を紹介したことがある。農業委員としても、農家と連携し新規就農者に農地を提供したりすることが大事である。新規就農者に活力を与えることで、耕作放棄地の解消にもつながってくるものと考えています。

石原委員 除草作業の取り組みは、耕作放棄地のことなのか。
お金をかけて農地の管理してもらっている方もいるので、その辺の公平性はどのように考えているのか。

事務局 対象は、耕作放棄地を対象としています。現在、相続により農地を所有している非農家の方や、高齢により農作業が出来ない方等、農地の適切な管理ができない所有者が比較的多くおります。また、現状を見ますと、雑草の苦情があり現地確認後、所有者に適切な管理について通知していますが、除草機械もなく頼む相手もわからないため、効果的な対応ができていない状況となっています。

そこで、今回の意見書案では新しい農業委員会体制において、除草を受託できる組織を地域ごとにグループ化し、JAと連携するなどのネットワークを構築していければと考えています。なお、農業機械等を所有していても耕作放棄地にしている方等、色々な方々もいますが、公平性等にも配慮しながら市の補助等を絡ませるなどした効果的な対策が構築していけたらと考えています。

石原委員 わかりました。

加賀崎委員 市内では、零細農家が多く乾燥機や籾摺り機などの機械類は値段が高い。また、JAのカントリーエレベーターは使用料も高いことから、農家への支援として、カントリーエレベーターをいかに有効に使うかなど、農家の皆さんと密着している農協の理事と農業委員で、この問題解決に向けて研究していく必要があると思う。

木部委員 先日、耕作放棄地のパトロールをしたが、一番問題なのが相続とかで所有者が不明で連絡が取れないことである。私は、地主とは連絡が取れないが、自主的に耕うん等を行い、耕作放棄地を解

消している。このため、口コミでうちもお願いしますとよく頼まれる。

今後は、地区や地域で相談をし意識付けをしていかないと解消に繋がっていかないのではないかと思う。木になってしまうと通常の農機具では解消できないし、建設機械が必要となってくる。

したがって、担当地区のことは、私なりに動いている。

議 長 それぞれに地元で工面し、実際に動いて解決している農業委員さん達もいます。また、やろうとしている農業委員さんもいます。今後、何か気が付いたことがあったら、事務局へ申し出ていただきたい。

ほかに、質疑、意見等無いようですので、先ほどの意見等を参考に、事務局でさらに検討し、意見書にまとめていただきます。

また、今後の予定として、まとめた意見書を9月の議案審査会で報告し、10月4日に、市長に意見書を提出したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員より異議なしの声)

議 長 それでは、議事(1)につきましては、そのようにさせていただきます。

次に、(2)規模拡大アンケート結果及び戸別訪問のお願いについて、事務局の説明をお願いします。

事 務 局 規模拡大アンケートを178人について実施しました。その中で、15人の方から、地元の農業委員と相談がしたいと申し出がありました。資料が添付されておりますので、9月末までに戸別訪問し、事務局へ報告していただきたいと思います。

そのほかの農業委員においても、農地に関する相談があった場合はこの名簿を参考にご活用ください。

議 長 (2)規模拡大アンケート結果及び戸別訪問のお願いについて、事務局の説明が終了しました。質疑、意見を求めます。

(質疑・意見等なし)

議長　　ほかに、質疑、意見がないようでしたら、該当の農業委員においては戸別訪問の実施とその報告を、また、その他の農業委員においても、農地に関する相談があった場合はこの名簿を参考にご活用ください。なお、いずれも個人情報が含まれているものです。くれぐれも第三者に漏れることのないようご留意いただきますようお願いいたします。

ほかに、皆さんからございますか。

ほかに、ないようですので、以上をもちまして、議事がすべて終了しましたので、議長の職を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

農業委員会事務局	局長	増田 啓良
	次長	渋澤 薫
	主幹兼農政係長	高橋 実
	主査	森田志津子

平成 29年 8月 29日

熊谷市農業委員会

会 長 松 本 丈

議 長 塚 田 とよ子

署名委員 水 野 勝

署名委員 加賀崎 千秋
